

年頭所感

年頭所感



福島県医師会会長

石塚尋朗

2026年の年頭にあたり皆様のご幸福を念じ、あわせてご繁栄をお祈り申し上げます。そして本年も福島県医師会が本県の人々の健康と幸福な長寿に寄与することができますようにお祈りいたします。

さて1945年の終戦から80年を経た昨年、私たちは不安定な世界情勢の中で民主主義と平和を守り抜くことが如何に大事なことであるかを再確認させられるような数々の出来事を目の当たりにいたしました。そしてまた産業革命以降徐々に進んできた地球規模の環境破壊が国内外で激甚災害を多発させ、さらに大規模地震への不安を抱えて過ごす中、本来の目的を逸脱したhigh technologyが世界の新たな脅威となり、自然が野生動物の姿をとおして日常を脅かすのを見ることとなりました。大国のIdeologyの狭間で今年この国がどこに進むのかを注視していかなければなりません。そしてどのような環境下でも、如何なる時にも、私たち医師には人々を医療で支えていく使命があります。昨年は、この国の医療・

介護を守り抜こうとする全国の医療・介護関係者の強い思いが第27回参議院議員選挙での釜范敏先生のご当選を導きました。そして2年に一度の診療報酬改定がある今年、医療現場にも変化が訪れます。改定率の内訳や、具体的な配分議論を注視したいと思います。

このような状況下で私たちが日本医師会の倫理綱領とともに進み、そして復興途上の福島県の人々を医療で支え、健康を増進し、本県の真の復興の一翼を担うためには、健全な医療環境を守っていかなければなりません。そのため医師会の組織を強化し会員の皆様と共に福島県の医師の声を発信し続けていきたいと思います。そして本県の各地域の医療現場の課題を都市地区医師会と共有し、ともに向き合い、県、自治体、県立医科大学、関係各所と連携し協力して一つ一つ改善していく努力をさらに続けてまいります。

そして、今私たちがなすべきことは医師としてまだ見ぬ脅威に対応する力を養っていくことではないかと感じます。昨年日本医師会

JMAT東北が発足いたしました。JMAT東北の機能強化は皆様一人一人の意識の向上から始まります。災害・パンデミックは時を選びません。油断することなく対応力を日頃から養い県民を守る医療を強化していきましょう。通信手段の確立、JMAT研修、自治体、関係団体との連携強力などやるべきことはたくさんあります。共に進んで行きましょう。

さて昨年本県で日本医師会男女共同参画フォーラムが開催されました。盛会となったこのフォーラムの成功を一時のものとせずに男女共同参画の歩みをさらに進めていきたいと考えます。男女を問わず、また様々な違いを包含して医師がその力をフルに發揮することができる環境づくりを皆様とともに進めてまいりたいと考えます。そして各委員会の活動をより活性化させたいと思います。医療をとりまく厳しい環境の中で、福島県医師会は福島県民そして県民を支える医師会員のために、以前にも増して確かな仕事をしていくなければなりません。会員が国から示されるビジョンや推進事業を前に暗闇の中を手探りで進むことなく新時代の医療と共に前進することができるように最大限努力していかなければなりません。昨年より各分野のAdvisoryがご尽力くださっておりますが、今後さらに多くの分野で会員を支え福利を導き、本県の医療を衰退させることなく守っていかなければなりません。今、2,700人の会員それぞれが様々な場所で、様々な専門領域で医療に従事しております、異なる立場で様々な課題に向き合っています。個々の力では不可能と思えることを医師会という組織の実力を高めることによって可能にしていきたいと思います。

さらに県民の中に医師会というものの深い理解を醸成していくことです。医師会の様々な仕事を知っていただき、それによって健康への意識を高めていただきたいと思いま

す。健康は医師が与えるものではなく、医師と患者さんとが協力して守っていくものであることをよく理解していただき、今年は「県民とともに進む医療」を更に深化させていきたいと思います。会員の皆様とビジョンを共有し、そこに到達するための道筋を絶えず考え、皆様のご協力のもとで本年も一つ一つ形にしてまいります。そしてどのような組織でも大事なことは、それぞれのポジションにつく者が果たすべき役割を確実に果たすことだと考えます。そのためには少数の役員に多くの役割が集中している現状のままでは早晚限界がきます。福島県医師会には県民を医療で支えるという使命があり、そのために意欲をもつさらに多くの会員の力が必要です。より多くの会員の皆様に医師会活動への理解を深めていただき、力を奮っていただく医師会に成長させていきたいと思います。

その時代時代の様々な課題に向き合い福島県医師会を守り成長させてこられた先人たちのチャレンジ精神を忘れず、今の時代に求められる確固たる仕事をやり遂げる医師会を作っていくことが今年の目標となります。医師としての信念に従い会員の皆様と思いを共有し福島県医師会を前進させてまいります。そして今年も「会長通信」で発信してまいります。

因みに今年の干支は午（馬）です。馬は本来常に前進する動物であり、後ろを振り返らずに前へと進むその姿は夢に向かって突き進むことを表しています。そしてまた明るさと行動力を象徴するといわれます。干支にあやかり、福島県医師会が実力ある組織として優れた仕事によって県民の皆様を支えていくことができますように行動力を發揮していきたいと思います。

今年も福島県医師会の活動に皆様の一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。